



高花平だより

2017. 6. 6
第 5 号

四日市市立高花平小学校

ねんしゃかいけんがく とうだいじ ならこうえん ほうりゅうじ 6年社会見学 —東大寺・奈良公園・法隆寺—

「ウアーン！」「デッカイ！」東大寺の南大門を見上げて、子どもたちは異口同音に驚きの声をあげました。そして、さらに大きな大仏殿を見て、再びその大きさに驚きの声。6月1日（木）、6年生が奈良へ社会見学に出かけました。午前中は東大寺と奈良公園、そして、午後は法隆寺を見学。木造建築では世界最大（東大寺大仏殿）と世界最古（法隆寺）を1日で見学しました。“百聞は一見にしかず”。実際に見て、触れて、歴史の重みを肌で感じることができるの



南大門仁王像を見上げる

が社会見学の魅力です。子どもたちは、食い入るように覗き込んだり、何度も繰り返し見たりして、熱心にメモをとっていました。“無病息災”のご利益で知られる大仏殿の柱の穴ぐり（大仏の鼻の穴と同じ大きさの穴が柱に空けられている）も、たくさんの子が体験しました。これで冬のインフルエンザには罹らないかな。奈良公園では班別行動で見学をしました。事前に立てた計画をもとに、公園内の見学地を回りました。「校長先生、南大門を見忘れたので今か行ってきます。」公園内を歩いていると、偶然出会ったグループが私に話しかけてきました。集合時刻から逆算するとギリギリの時間でしたが、時計を見ながら5分前に集合場所に到着できました。自分たちで考えて行動する力が身についてきたようで、頼もしく思いました。班別行動の良さは、何かあったときに子ども同士で相談しながら問題を解決する経験ができることです。今の子どもたちに求められているのは、「仲間とともに問題を解決する能力（コミュニケーション力と問題解決能力）」なのです。

が社会見学の魅力です。子どもたちは、食い入るように覗き込んだり、何度も繰り返し見たりして、熱心にメモをとっていました。“無病息災”のご利益で知られる大仏殿の柱の穴ぐり（大仏の鼻の穴と同じ大きさの穴が柱に空けられている）も、たくさんの子が体験しました。これで冬のインフルエンザには罹らないかな。

奈良公園では班別行動で見学をしました。事前に立てた計画をもとに、公園内の見学地を回りました。「校長先生、南大門を見忘れたので今か



よき読み聞かせ

20分休みに、司書さんによる読み聞かせがありました。子どもたちは目を輝かせながら集中して聞いていました。読書は感動する心を育て、ものの見方や考え方を育てます。「頭」とともに「心」も豊かにします。一冊の本との出会いが、人生に大きな影響を与えることもあります。読み聞かせは、本に対する興味を育てます。読み聞かせをきっかけに読書好きの子がどんどん増えていってほしいと思います。



本校の図書室の本は古いものが多く、特に調べ学習に用いる本などは時代遅れのもの（たとえば「ソビエト連邦」の本、市町村合併前の地理の本など）がたくさんあるので、徐々に新しい本に替えて、読書環境を充実させていきたいと思っています。

＜お知らせ＞

投てき板を補修しました。運動場の南側中央部分にある木製の投てき板がかなり傷んでいて、くぎがむき出しになっている部分もあり、危険防止のため、新品同様に造り替えました。子どもたちの投げる力の低下が指摘されて久しいですが、投てき板を使って、体力づくりに励んでほしいと思います。